

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4078900216		
法人名	有限会社 裕和		
事業所名	グループホーム まほろば		
所在地 (電話番号)	柳川市三橋町正行351 (電 話) 0944 - 74 - 0081		
評価機関名	財団法人 福岡県メディカルセンター		
所在地	福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号		
訪問調査日	平成20年1月22日	評価確定日	平成20年2月20日

【情報提供票より】(19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年3月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤 9 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 6 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	平屋 造り	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (12月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 75.2 歳	最低 68 歳	最高 94 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	村石循環器科、中川歯科、新船小屋病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田畑に囲まれ、近所の方々から野菜の差し入れがあったり、気楽に訪問を受けたりするなど「楽しく、自分らしく」自宅での生活と同じように地域に溶け込んだ暮らしがある。地域に密着したホームの情報を、ホームページで開示している。従事者の働きぶりに活気があり、医療連携にも前向きである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価後、全体で協議し課題に取り組んだ。玄関正面の左壁面に「楽しく自分らしく」の理念説明文を大きく掲げて見やすく工夫し、意見箱も設置した。運営理念の啓発に関しては運営推進会議へ相談している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 前回の経験(主にホーム長が自己評価に取り組んだ)を踏まえて全員で協議し、自己評価に取り組んだ。今回はパート職員も一丸となって自分たちのやってきたことを振り返ることが出来た。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議では、ホームでやっていることの報告を主な討議内容としている。利用者本位の視点から、毎日の過ごし方として散歩や買物、車での外出などを毎日位置づけることにつなげるなど、意見を参考に改善に取り組んでいる。これからも、地域に「認知症の理解」を広げていくための検討・工夫に期待する。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9) 意見箱を設置したが、ほとんど入っていない。今後も家族や地域と、対話の機会を十分に持ち、交流を深めることに期待する。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 「ホームだより」を地域の回覧板と一緒にまわしたことは、企業の宣伝として捉えられ反発を招いたが、運営推進会議にも相談して粘り強く「認知症の理解」を働きかけることが望まれる。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的で、のんびりゆったりと家族の一員として日常生活を過ごしていただきたいとの願いで理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の説明文も大きく表し、毎朝のミーティングで読み合わせて実践に活かし、共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の回覧板と一緒に「ホームだより」を配布し、評判がよかったが、企業の宣伝として捉えられ1回きりとなった。認知症に対する理解が得られていない。地域の行事には元気な方がお宮の掃除をするなど交流している。	○	「認知症に対する理解」を得るために運営推進会議等で地域との交流をさらに深めることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的を理解し、全職員で自己評価に取り組み、前回の外部評価結果について数回全体会議を開き改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見を受けて外出や買い物や散歩、車を使用して出かけることなどサービスの向上に取り組んでいる。さらに今後は地域での「認知症に対する理解」を得るために工夫をしていきたいと考えている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員との意見交換はよく行っている。質問など頻繁に相談している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用の方がおられないので、制度の必要性などについての学習には取り組んでいない。今後学習計画を立てていく予定である。	○	法人全体での学習計画を具体化し、今後の支援に役立てよう期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態や金銭管理はよくなされているが、職員の異動については聞かれた場合に報告をしている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	前回の外部評価の提案を受け「ご意見箱」を設置したが、投函はほとんどないのが現状である。敬老会時に「家族会」を実施しているが、家族からの意見もなく月1回の利用料金支払いの折に、個別に意見を伺うなどして運営に反映させている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等による影響には配慮している。また、利用者や家族の意見表出が少なく、聞かれた場合は説明している。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	管理者は職員の募集・採用にあたって性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。パート従事者に対しても学習や対外活動を保証するなど配慮している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	職員等に対して、人権教育、啓発活動には取り組んでいない。	○	現時点で利用者に必要性がないこともあるが、権利擁護や後見人制度に関してのパンフレット等の準備や職員の研修・学習計画がなされることに期待する。
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外での研修に、非常勤職員にも積極的に参加させるなどの取り組みがなされている。		
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今までも同業者との交流はなされている。		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意思表示は乏しいが、1日か2日泊まっての体験入所や、場合によっては家族と一緒に体験入所も行なっている。ホームとしては1週間の泊まりも受け入れるなど家族の事情を考えて工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お客様でなく家族の一員としての生活を過ごせるように職員も暮らしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や意向を把握するのは時間がかかるが、介護者全員で様子を見ながら、話し合っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の本音を知ることにはなかなか難しいが、「どうしてほしいか、どうなってほしいか」は、自由に楽しく生活していけばつかめるのではないかと考え、チームケア会議を開き介護計画に反映させている。	○	改善シートなど記録の整備を図り、スタッフ全員が一人ひとりの状況の変化を記録として残すことが望まれる。
19	39	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	安定されている方が多いが、状況が変わった人には見直しを行う。一人だけの希望に関しては家族の協力を得て実施するなど、変化や要望に即した見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	台風の時に近所の独居の方が泊まりで利用されたこともある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を基本に、協力医の往診は定期的に2週間ごと、健診は6ヶ月ごとに支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	24時間医療連携のもと看取りを経験しているので、入所時にターミナル同意書および看取りに関する指針を示して家族の署名をもらい、近まってからもう一度方針を確認して全員で共有している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	他の利用者の前でトイレ誘導の声かけや戸を開けたままにしない、また、カルテを机の上に出さないなど、尊厳やプライバシーを損ねることがないように徹底を図っている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしく一人ひとりの希望に添って過ごしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたいものを聞き、近所から差し入れされた野菜も使って献立を考えて調理し、みんなで一緒におしゃべりしながら食事することを大切にしている。		
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜間に入りたいと要望があり、何度か実施したが無理があった。現在は曜日と時間帯を決めて入ってもらっており、利用者も楽しめている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洋裁や事務など、今までの仕事や生活がケアの中で活かされているか気遣いながら、雨の日は室内で、晴れの日は希望により散歩に出かけたり車でスーパーに買い物に行ったりするなど楽しみや気晴らしの支援をしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に添って晴れの日は外出や散歩、車で買い物するなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない暮らしを大切にしているが、堀や洗濯物干し場があり、危険防止のため裏のドアだけは鍵をしている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防団の協力もあり、近所の人とも話し合って消防訓練を定期的に行っているが、自然災害などの災害時の避難訓練やマニュアルは整備していない。	○	法人全体でマニュアルを整備することが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べたいものを尋ねて、毎食栄養バランスを考慮した献立を調理・提供し、食べた量や水分量を記録している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れた共用の空間では食事や趣味、テレビ観賞などそれぞれが思い思いに過ごせるような工夫がされている。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室床張りのためベッドや小物ダンスなど備えてあり、他は使い慣れた物の持込をお願いしているがあまり持ち込まれていない。清潔で共用空間に面しており、居心地よく過ごせる工夫がある。		